DJ-CH201/271　　拡張セットモードの設定一覧

拡　張　機　能			
表示	設定項目の名称	選択範囲	初期値
Sq	スケルチレベル	0～5	3
Lt	キーロック押下時間	1～3	2 秒
bS	バッテリーセーブ	OFF / ON	ON
*.**	電池電圧表示	*.**	*.**
mG	マイクゲイン	1～7	4
dt	デュアルオペレーション再開時間	1～5	5 秒
iPt	PTT とマイク設定*	oF / ot / AL	OFF
tEG	緊急警報鳴動時間*	10～60	10 秒
FSC	秘話周波数*	2.7～3.4	3.4KHz
Cbt	減電池アラーム設定*	OFF/5～60 秒	OFF
Gr	グループ機能*	tn / C1/C2	tn
tvo	VOX ディレイ時間*	01～30	1 秒(10)
CH	チャンネル表示設定	AL/no/OFF	AL
to（tn）	トーン受信設定*	nL/SP	nL
AGC	マイク AGC*	FS/SL/OFF	SL
tG	マイク AGC ターゲット*	-3～-24	-6
tC	テールノイズキャンセル設定*	OFF /ON	ON

＊印は新機能です。

特定小電力トランシーバには、普段の使用には余り必要が無くても環境や特定のニーズによってカスタマイズできると便利な項目を拡張セットモードに持たせております。通常の設定項目にしなければならないほどには頻繁に使わない上、意味が分かってお使い頂かないと電池を早く消費したり、「故障かな？」と思うような動作をしたりする可能性があるので、これらは下記のボタン操作にてセットモードの拡張を行った後に設定画面に現れるようになっており、敢えて取扱い説明書には記載しておりません。
これら拡張メニューはパラメータ変更後に再びメニュー表示を隠すことと、完全初期化（通常のセットモード、チャンネル設定なども含めた全てを工場出荷状態に戻すリセット）が可能です。

拡張機能の内容を良くご理解の上で操作していただきたいので、拡張方法は本書の最後に記載しています。増えた項目は、通常のセットモード項目の後ろに続けて表示されます。

1: スケルチレベル「Sq」

設定値 0～5 (初期値 3)
ＦＭ電波特有の、通話が無い時に聞こえるホワイトノイズを消す「スケルチレベル」の調整項目です。
工場設定で標準的なレベルに調整してあります。ノイズが強い環境などで通話していない時でもスケルチが開きカサカサと音が出る場合に、レベルを上げると静かな待ち受けが可

能になりますが､弱い通信信号も消してしまうため通話距離が短くなるように感じられることがあります。
逆にノイズが低い環境では､レベルを低めに設定することで弱めの信号でも受信しやすくなる場合があります。レベルをゼロにすると、常にザーというノイズが聞こえるようになります。
尚、DJ-CH201/271 のホワイトノイズにはパリパリ…といったノイズが混じりますが、使用している部品の仕様によるもので、異常ではありません。

2: キーロック押下時間「Lt」

設定値 1〜3 秒 (初期値 2 秒)
通常は指定のボタンを２秒押すとキーロックが掛かりますが、このタイミングを１〜3 秒の間で変更できます。

3: バッテリーセーブ「bS」

設定値 OFF／ON (初期値 ON)
電池消費を最小にするバッテリーセーブ機能は､僅かですが通話の始めの部分が途切れる原因の一つになる場合があります｡これを少しでも軽減するためにここでＢＳ設定を解除できますが､電池の消費が早くなるためご注意ください｡劇的な効果が期待できる設定値ではありません｡

4: 電池電圧表示「*.」**

何かを変更できる項目ではありません｡拡張後このメニューに合わせると､お使いの電池のおよその電圧を表示するので電池残量チェックとしてお使いになれます｡テスターのような精度ではありませんので目安とお考えください。

5: マイクゲイン「mG」

設定値 1〜7 (初期値 4)
通話時の癖やアクセサリーマイクのゲインなどの都合で､人によって無線機に入る声量は異なります。このため、音が小さい（話す声が小さい＝レベルを大きくする）、音が歪む（声が大きい＝レベルを小さくする）等の場合に調整できるようになっています｡お使いになるイヤホンマイクによってもレベル調整が必要になる場合があります。

6: デュアルオペレーション再開時間「dt」

設定値 1〜5 (初期値 5 秒)
デュアルオペレーションモードにて通話を終了し交互受信が再開するまでの時間を変更できます。通常は通話終了から 5 秒経過後に交互受信が再開されますが、交互受信の再開時間を 1〜5 秒に変更できます｡通話終了からすぐに交互受信を行いたい時は設定値を小さくしてください。

7: PTT とマイク設定「iPt」

設定値 oF／ot／AL (初期値 OFF)
オプション（イヤホン・スピーカーマイク等）を本体に接続して使用する際に、本体 PTT と本体マイクの有効／無効を設定変更することができます｡使用するオプションに合わせて設定してください。

oF ：本体 PTT 無効・本体マイク無効
ot ：本体 PTT 有効・本体マイク無効
AL ：本体 PTT 有効・本体マイク有効
※ 「ot」「AL」でスピーカーマイクを使用する際、本体 PTT を押してもスピーカーマイクからの音声を送信することはできません。スピーカーマイクを使用する際はスピーカーマイクの PTT を押して送信してください。

8: 緊急警報鳴動時間「tEG」
設定値 10〜60 (初期値 10 秒)
通常は緊急警報のアラーム鳴動時間と送信時間は 10 秒に設定されていますが、この時間を 10 秒単位（最大 60 秒）で変更することができます。

9:秘話周波数「FSC」
設定値 2.7〜3.4 (初期値 3.4KHz)
秘話のキャリア周波数を設定します。秘話で通話する際、周波数が一致していないと通話音声の内容が聞き取りにくくなります。初期値以外の周波数を使用したい場合は設定を変更することができます。

10:減電池アラーム設定「Cbt」
設定値 OFF/5〜60 秒（初期値 OFF）
本体の電池が消耗するとディスプレイ右上の電池マークが点滅し、アラームを鳴らして減電池をお知らせします。この時減電池アラーム設定を 5〜60 秒に設定することで、設定時間ごとに１回、電池が減っていることを「ププッ」音でお知らせします。但し、電池が減っている状態で音を鳴らして知らせるため間隔を短く設定するほど早く電池が切れます。

11: グループ機能「Gr」
設定値 tn/C1/ C2 (初期値 tn)
DJ-CH201/271 のグループトークは通常のトーンスケルチの他に DCS（デジタルコードスケルチ）に切り替えることができます。グループの種類の切り替えを C1/ C2 に設定し、通常のトーンスケルチと同様に通常画面で【GROUP】キーを押すことで DCS を設定することができます（トーンスケルチの場合、チャンネルとグループの間に [- ：ハイフン] が表示されますが、DCS の場合は[- ：ハイフン] が表示されません）。グループ番号を変更する場合はトーンスケルチと同様に【FUNC】キーを押しながら▲▼で変更（C1:01〜83/C2:01〜A8）することができます。
注意:≧100 の場合、16 進法として表示されます。例え:100=A0;108=A8。

12: VOX ディレイ時間「tvo」
設定値 1〜30 (初期値 10：1.0 秒)
VOX 機能を使用して送信した時、通常は音声が入っていなくても 1 秒間は送信し続けます。 これにより、VOX 送信中に一呼吸おいて話しても送信は途切れることなく通信することができます。VOX 送信持続時間を変更することによりこの時間を 0.1 秒〜3.0 秒に変更することができます。送受信の切り替えをテキパキと行いたいときは、設定を短めにすることをお勧めします。

13:チャンネル表示設定「CH」

設定値 AL/no/OFF（初期値 AL）

DJ-CH201/271 の通常のチャンネル表示は L01～L09、b01～ b11 と表示されます。チャンネル表示設定を no に変更することで 01～20 表示に変更することができます。

AL	No
b01～b11	01～11
L01～L09	12～20
b12～b29 (中継) **※DJ-CH271 のみ**	01～18 (中継) **※DJ-CH271 のみ**
L10～L18 (中継) **※DJ-CH271 のみ**	19～27 (中継) **※DJ-CH271 のみ**

また、チャンネル表示設定を OFF に変更することでチャンネルを非表示に変更することができます。(チャンネル、グループ番号は設定直前の状態で保持されます。)

チャンネルを非表示にしている時はチャンネル変更、グループ設定の変更ができません。チャンネル変更、グループ設定する場合はチャンネル表示設定を AL または no に変更してください。

14:トーン受信設定「to」 tnと表示され、値がto-1のように出るときは巻末をご参照ください。

設定値 nL/SP（初期値 nL）

グループトークでのトーンの受信精度を調整することができます。グループトークでトーンが受信しづらい場合、この設定を「SP」に変更することでトーンが受信しやすくなり、トーンでの受信音声を途切れにくくすることができます。

但し、「SP」に変更することにより、隣接するグループ番号(トーン周波数)を受けやすくなります。また、受信終了時に「ザッ」音が聞こえます。

15: マイク AGC「AGC」

設定値 FS/SL/OFF (初期値 SL)

過変調を抑えるためのオートゲインコントロールです。

16: マイク AGC ターゲット「tG」

設定値 -3～-24 (初期値-6)

AGC を効かせる基準を変更できます。(-3dB～-24dB、初期値は-6dB)

17: テールノイズキャンセル設定「tC」

設定値 OFF/ON (初期値 ON)

グループトーク機能を入れていなくても、通話終了時に受信側から聞こえるテールノイズ(受信状態から待ち受け状態になる時の「ザッ」というノイズ音)を除去するテールノイズキャンセル機能が入っています。

テールノイズキャンセル機能は送信側と受信側の両方で有効にした時のみ動作します。

この機能が入っていない無線機と通話する時、この設定を変える必要はありませんがテールノイズは聞こえてしまいます。

[セットモード拡張の方法]

1.キーロックする。(2 種類キーロックのうち、どちらの方法でも可)
2.【GROUP】キーを５回連続で押す。4 秒以内に 5 回押さないと有効になりません。
→キー操作が有効であれば「ピピッ」とビープ音が鳴ります。
3.次にセットモードに入ると拡張メニューが追加されています。

※設定値を保存して拡張メニューを隠すには、上記 1〜3 の操作を繰り返します。
※チャンネルや通常のセットモードで設定したパラメータも含め全てを工場出荷状態まで初期化する には、一度電源を切り、VOL【▲】、【FUNC】、CH【▲】3 つのキーを同時に押しながら電源を入れます。

※取扱説明書に記載の簡易リセットでは､拡張セットモードで設定した値は初期化されません。通常セットモード、チャンネルは初期値に戻ります。

アルインコ（株）電子事業部

以上

<u>拡張セットモードの変更</u>

拡張時のセットモード項目に変更がございます。

トーン受信設定　(tn)
設定値 to-1 から to-5 (初期値 to-2)

従来、nL、noL, SP1, SP2 等であった「to」項目の更新です。同じグループトーク番号に設定しているのにスケルチが開かない場合、このパラメータを変更することでトーン判定精度が甘くなり、問題を解決できることがあります。「to-1」が従来の「noL/nL」と同じで一番厳しく（読み取り精度が正確）、「to-5」に近いほど甘くなるのでグループ番号が合致しなくてもスケルチが開く率が高くなります。また、「to-2」以上ではスケルチが閉じるときに「ザッ」音が聞こえるようになります。（テールノイズキャンセル機能が働かなくなります。）